

平成27年7月12日

執行

(両面をご覧ください)

日田市長選挙公報

日田市
選挙管理委員会

(掲載順序はくじによる)

原田けいすけの、四年前の決意

- 不公平なバラマキ行政はやりません! 将来を見据えた行財政改革をすすめます。
- 官民格差の抑制、事業仕分けを進め総人件費2割カットを目指す。
- 子育て家庭・障がい者・高齢者等が、安心して暮らせる制度を創造。
- 国民健康保険税の大幅増税はやりません!
- 地域の実情に応じた子育て支援。

【四年間の政策・実績】

日田市土地開発公社の解散により将来の債務超過を回避。
 ウッドコンビナート用地への企業誘致と2期計画中止。
 スギなどの樹皮(パーク)を熱源とした木材乾燥施設支援。
 史跡 咸宜園跡の日本遺産認定。日田市自治基本条例制定。
 椿ヶ鼻ハイランドパーク民間委託による、集客力の向上と効果的・効率的な施設運営。
 バトリア日田民間委託による、市民サービスの向上と効果的・効率的な施設運営。
 市職員の総人件費削減(任期4年間で削減率は6・7%)
 市長と市民の皆さんが対話し、まちづくりについて考える「いっしょに考えん会」の実施。
 県内初の公設スケートボード場の設置。
 木質バイオマス発電所支援。
 博多大丸での日田市アンテナショップの開設。



原田けいすけ

原田けいすけの、新たなる覚悟 ～挑戦 創造 深化～

ひ た 地域力日本一へ!

持続可能なまちづくりを前に進めます。

市長としてこの四年間で培った経験と、県はもちろん国とのネットワークを最大限に活かして地域力日本一をめざします。



- 【防災力】人が命をつなく、災害に強い安心の日田
 - 【市民力】市民が主体のまちづくり
 - 【子育て力】新制度を踏まえて、安心して子育てが出来るまち
 - 【健康力】超高齢化社会に向けて健康寿命を伸ばす
 - 【環境力】資源循環型社会の構築
 - 【連携力】合併10年目の定住自立圏構想
 - 【交流力】世界とつながる「交流都市 日田」へ
 - 【産業力】産業を深化させ、新たな価値の創造
- 私が責任を持って必ずやり遂げます!

【原田啓介 略歴】

昭和33年12月6日生まれ、昭和46年3月日田市立月隈小学校卒業、昭和49年3月日田市立東部中学校卒業
 昭和52年3月東海大学付属第五高等学校卒業、日田青年会議所専務理事、千年あかり実行委員会事務局長、
 平成23年8月5日第9代日田市長就任、全国文化的景観地区連絡協議会会長、大分県ボート協会会長



日田市長選挙

投票日は

7月12日(日)

ふるさとの 創生託す この一票

平成27年7月12日

執行

(両面をご覧ください)

日田市長選挙公報

日田市

選挙管理委員会

(掲載順序はくじによる)

決断力と実行力で未来を拓く!

活気あふれる日田市を創生

点から線へ、そして面へと、人・自然・産業・文化をつなげていくまちづくりを迅速着実に進めていきます。

創生のための3つの施策

1 日田市課題解決プロジェクトチームを編成

経済、福祉、教育、防災を重点課題とし、その解決策を具体化するための市民代表者によるプロジェクトチームを編成し、決定事項を着実に実行していきます。

2 民官協働型行政の推進

まちづくり基金を創設し、市民提案による施策を実現していきます。

3 移動市長室の新設

各地区に移動市長室を設置し、市民のみなさんのご意見を積極的に伺いながら、市民の役に立つ開かれた役所づくりを推進します。

日田市を元気にするための重点政策

咸宜園教育の復活

- 世界文化遺産登録に向けた環境整備
- 日田独自教育プログラムの策定
- 民官一体型学校の設立
- 大学の学部誘致

産業振興

- 日田製品の販路拡大
- 新規就農・起業支援、企業誘致
- 地元産業育成・支援
- 女性登用・子育て支援

水郷の復活

- 三隈川の水量・水質改善と天然アユ復活
- 水源としての山林の保全と防災環境整備
- 日田杉の活用促進
- 筑後川流域連携

観光開発

- 小野、豆田、中央、隈地区連携
- 観光資源及び観光ルート開発
- JRとの連携
- 温泉街道日田竹田間の連携

止まらぬ人口減少 2050年には35,000人に

日田創生を今すぐ進めさせてください



ごいけ

昭太郎

しょうたろう

57歳



日田市長選挙

投票日は

7月12日(日)

ふるさとの 創生託す この一票